

(様式2)

令和 7年 2月19日

高松市教育委員会
保健体育課長 殿

学校名 高松市立亀阜小学校
校長名 市原 茂幹

公印
省略

令和6年度 高松市防災教育講師派遣事業報告書

次のとおり、事業を実施したので、報告します。

学校の名称	高松市立亀阜小学校
派遣内容	令和6年度 高松市防災教育講師派遣事業
日時	令和 7年 2月19日(水) 13:45 ~ 14:30
場所	生活科教室
対象者 参加人数	児童数 90 名 クラス数 3 クラス 教職員 4 名 その他 0 名
内容・日程等	地震・津波
取組における成果	・地震や津波がどのようにして起こるのか、発生のメカニズムのイラストや動画で分かりやすい内容であった。 ・日本の周りには4つのプレートがあり、津波が起こるのはプレートの境で起こる地震であることや、津波のスピードは地上より水の中の方がはるかに速く時速80キロメートルであることなど、具体的に話していただいたので、より実感を伴って理解することができた。 ・地震が起こった際の対応の仕方や、地震が起こる前に備える持ち出し品など、児童が考える場や話し合う場もあり、児童自身がどうしたらよいか考えることができたのもよかった。 ・災害が起こる前に家族と避難場所を決めておくことや、災害が起きた時に伝言を残すダイヤルがあることを知り、家の人にも見せたいと考えるようになった。普段から地震に備えておくことの大切さを改めて実感することができた。
今後の課題	・地震・津波以外の災害についてもこのように考える機会があるとよい。 ・様々な過去の災害から学んで、いざという時に備える力も大切だが、未来をつくる子どもたちだからこそ、そのためにどう行動し、どんな社会を作っていくとよいか考えるきっかけになるとよいと思った。

注) 当日の写真、資料等がありましたら、A4縦で添付してください。



「防災教育」

五年 組 名前

今日私は、東京海上日動のみなさんに防災についてのお話を聞きました。

まず、東京海上日動とはどんなものかお話を聞きました。東京海上日動とは地

しんなど、いざというときにそなえ保けん金を集める所だと知りました。次に、地しん

についてのお話を聞きました。地しんはいつ、どんな時に起こるかわからないので

じゅうぶんに注意したいと思ひました。地しんが起きると火事やつなみが起き、

地しんは命にかかわるきけんなものだとあらためて実

感しました。つなみのお話では、でるだけ高く、遠い所に

いくことが大切だと分かりました。

私はこの勉強をして、家族との話し合いや非常持ち出

しぶくろを用意する、あぶない所やひなん場所をかくにんする

ことが大切だと思いました。でも一番は正しい知識で自分の



注意 つなみ



つなみひなん場所



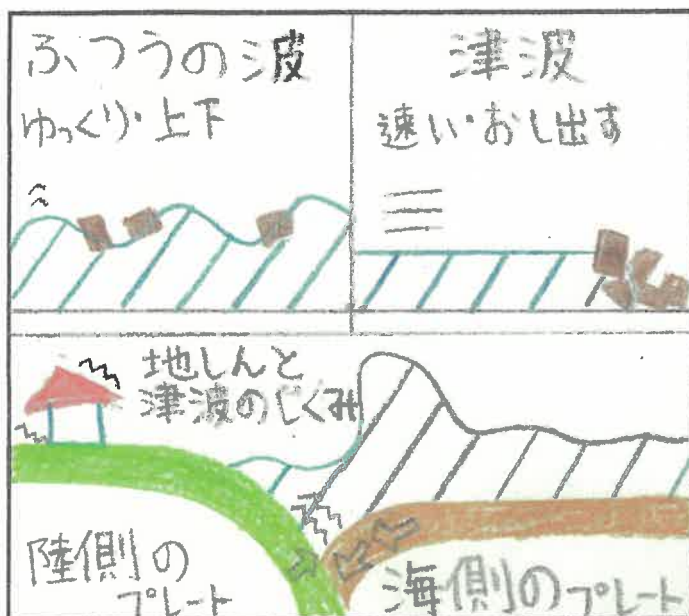
命を守ることが大切だと思いました。こいからの活動にも生かしていきな

「防災教育」

五年 組 名前

今日は、東京海上日動の5人の方に、防災のことについて教えてもらいました。

一つ目は、地しんによるひ害です。大きな地しんが起きた時は、建物がくずれたり道路にヒビが入ったりするそうです。ひどい時には、火事や津波など命にかかわることもあると教えてくれました。二つ目は、波についてです。ふつうの波は、上下に動き、勢いが弱いですが、津波は、ものがおし出され勢いが強く、スピードもとても速いです。三つ目は、思いと



考えです。私は今日の教室をもとに家へ帰ると中に地しんが起きたら、今、ここで地しんが起きたらなど、常に心に残しておいて、これからできる対策方法なども調べ、家族全員が安全にひなでできるようにしたいです。いつ起きてもおかしくない!!という事実を受けとめ、これからできることを考えていきたいです。

「防災教育」

五年 組 名前

私は、防災教育の授業で学んだことがあります。

東京海上日動の会社は、みんなからお金を集めて災害などで困ったときに保険金をわたすという助け合いの仕組みでできている保険会社ということを知り、なくてはならない存在だなと思いました。日本は一日に約七百回地震が起っていて、それが大きくなったものが能登半島地震のような大きな災害になること



わかりました。そして、自分が思っていたよりも地震や津波のパワーは大きいので、自分にできる対策を実行していこうと思いました。家族みんなで非常用の持ち出し品を準備したり、確認したりして、少しでも命が助かるようにしっかりと用意しておきたいです。今日、学んだことを家族や親せきに話したり、社会の授業や生活に活かしていきたいと思いました。